

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会の概要

大会名	第39回技能五輪国際大会	第7回国際アビリンピック
目 的	各国・地域の青年技能者が国際的に技能を競うことにより参加国の職業訓練及び技能水準の向上を図ることを目的に開催。	障害のある人の職業技能の向上を図るとともに障害者雇用に対する社会一般の理解を深め、国際親善を図ることを目的に開催。
参加資格	大会年に22歳以下の者(一部職種は25歳以下)	15歳以上の障害のある者
大会開始年	1950年(昭和25年)	1981年(昭和56年)
大会開催	原則2年に1度(奇数年)	概ね4年に1度
日本での開催	1970年(第19回)東京, 1985年(第28回)大阪	1981年(第1回)東京
日本大会の主催者	財団法人2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会	
日 程	14日(水) 開会式(合同開催)	
11月14日(水) ~21日(水)	15日(木) 競技(4日間) ~18日(日) 19日(月) 審査 ~20日(火) 21日(水) 閉会式(表彰式)	15日(木) 競技(3日間) ~17日(土) 18日(日) 閉会式(表彰式)
会 場	門池地区(静岡県沼津市)	ツインメッセ静岡(静岡市駿河区曲金)
参加国 競技職種数・参加選手数	46カ国・地域 47職種812名 (日本参加選手 46職種51名) 広島県参加選手 1職種1名	34カ国・地域 30職種360名 (日本参加選手 30職種80名) 広島県参加選手 1職種1名
日本選手団成績	1位金賞 16個 2位銀賞 5個 3位銅賞 3個 計 24個	12個 17個 15個 44個